



乾燥しておりますので  
風邪等にご注意下さい。

### ◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。

予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙

“健康診断のご案内”をご覧ください。

※H28年3月1日より料金が  
変わりました

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第49号をお届けします。バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。

<http://www.okimura-nouge.com/>

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。例年、年末年始はお付き合いも多く（色付き水を飲み、美味しいツマミを食べることも増え）体重の増加をきたしてしまうことが多いのですが、今年は休み前の体重を維持しています（むしろ少し減量）。というも、年末の仕事納めの夜から体調を崩して、休み中は自宅療養、おかゆ中心の食生活でした。「病（やまい）は気から」などとも言いますが、まさに休みとともに「気」が緩んでしまったのだと思います。年初にいきなり反省です。ところで「病（やまい）」に「気」をつけると「病氣」という単語になります。「病（やまい）」と「病氣」という言葉の違い、皆様は意識したことありますか？あくまで一般論ですが男性は「病（や）」んでくると体温測定をしたりして、すぐに「病氣」にしたがる傾向がありますが、女性はそうでもないようなことを我がスタッフから聞いたことがあるような「気」がします。

今月の話題は『病（やまい）』と『病氣』です。

『病（やまい）』は『病む（やむ）』ことですから、例えば心を『病む（やむ）』、とか胃を『病む（やむ）』というような使い方をします。患者さんの訴える症状に近い言葉です。一方で『病氣』とは患者さんの『病（や）』んでいる症状に対して、理論的、医学的な根拠に基づいて医者がつける名称のことです。ですから心と胃を『病（や）』んでいる患者さんに対して、医者がストレス性胃潰瘍ですねと言った時点で『病氣』になるわけです。『病（やまい）』は『癒す』と言います。一方で『病氣』は『治す』と言います。現代医学の発展とともに『治す』ことの出来る『病氣』は増えてきました。しかしながら医療機関を訪れた患者さんの『病（やまい）』を『癒す』ことは実はかなり難しいと痛感しています。『病氣』は『治』っていると言われたが、『病（や）』んだ患者さんの問題は何も解決していない、そんな光景にお目にかかることもあるようです。医療従事者、事務職に関わらず、患者さんを『治す』のを目指すのは当然としながら、さらに患者さんを『癒す』ことへも気が遣える、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

### ◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。

70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック